



新吉田

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/shinyoshida>

横浜市立新吉田小学校

多くの方々に見守られて

学校長 税田 栄一

新年度が始まって1か月が経とうとしています。毎朝、校門に立って子ども達の登校を見守っていると、「おはようございます。」と元気な挨拶が返ってきて、子ども達からパワーをもらっています。

西門や東門近くの横断歩道や交差点では、多くの方々が子どもたちの横断を見守ったり、挨拶を交わしてくださったりしています。聞くと、自治会や社会福祉協議会の方々、PTAの「朝パト」の方々が立ってくださっているということです。実は学校周りだけでなく、地域内の様々な場所でも見守り活動をしてくださっていることを知り、新吉田小学校では、子ども達のことを地域・保護者・学校が連携して見守っていくという体制が整っていることに感銘を受けました。

また、校内では、1年生の給食準備や新体力テストなどでオレンジ色のバンダナを身に着けた方々が様々な支援をしてくださっている姿が見られました。これは「しんしょう・応援隊」といって、地域学校協働活動推進員（学校・地域コーディネーター）が中心となって運営して下さっているサポートチームです。「しんしょう・応援隊」は、地域と学校が連携・協働することにより、子ども達の豊かな学びと自立のためのサポートを行うことを目的として2016年に発足しました。今年度はお二人の学校・地域コーディネーターの方を中心に、122名の方がこの「しんしょう・応援隊」に登録して下さっています。今後も様々な教科や校外学習のサポート、読み聞かせ、朝の安全見守りなど、年間を通じて活動していただきます。



しんしょう・応援隊のシンボルマーク

横浜市でも、以前は地域が学校や子どもたちを応援・支援するという関係でしたが、現在は「地域の子どもたちを、地域と学校が一体となって育てていく」という「連携・協働」の視点で、地域と学校がパートナーシップに基づき、双方向の関係で活動を進めていくことが大切だと考えられています。

○地域・保護者の皆さんが学校教育に参画することで子どもたちへの教育活動が充実します。

○地域・保護者の皆さんと学校が顔の見える関係となり、学校の理解者、協力者が増えます。

○地域の皆さんの交流が活発になり、皆さんのつながりがより広く深くなります。

（※横浜市リーフレット「地域とともに子どもを育む学校づくり」より）

今後も地域・学校が、互いに恩恵にあずかる関係性を築くことのできる、新吉田小学校で在りたいと考えます。